

三重県総合文化センター指定管理者
審査に係る報告書

平成21年10月

三重県総合文化センター指定管理者選定委員会

はじめに

三重県総合文化センター（以下、「センター」という。）の指定管理者の選定にあたり、三重県総合文化センター指定管理者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）は、申請団体から提出された提案書類の審査やヒアリングを実施してきました。この度、選定委員会による審査が終了しましたので報告します。

1 審査方法

(1) 選定委員会委員

区分	氏名	備考
委員長	山田康彦	三重大学教育学部教授
委員	片山眞洋	弁護士
〃	川口節子	元三重県教育委員長
〃	滝澤多佳子	税理士
〃	辻本 當	津文化協会理事長
〃	寺尾 亨	公募委員
〃	花見 槇子	三重大学国際交流センター教授

(2) 審査の経過、審査方法

① 第1回選定委員会（平成21年7月29日）

審査基準及び配点についての審議を行いました。

② 第2回選定委員会（平成21年10月1日）

申請事業者から提出された提案書類のヒアリング審査を行いました。

③ 第3回選定委員会（平成21年10月16日）

申請事業者が1者だったため、指定管理者として相応しいかという観点で審査を行いました。各委員は、審査基準に基づき採点を行うとともに、委員全員の合議による総合審査を行いました。

2 審査結果

選定委員会において厳正な審査を行った結果、次の団体が三重県総合文化センターの指定管理者として相応しいという結論に達しました。

(1) 申請事業者

三重県津市一身田上津部田1234番地

財団法人三重県文化振興事業団 理事長 豊田長康

(2) 採点結果

審査基準 及び配点	1	2	3	4	5	合計
	申請事業者	60	100	230	60	60
(財) 三重県文化振興 事業団	51.71	87.29	193.71	52.93	50.22	435.86

3 審査講評

財団法人三重県文化振興事業団を指定管理者として選定するに当たり、選定委員会で交わされた主な意見、内容は次のとおりです。

- (1) センターが担うべき目的、役割を十分認識したうえで、全体的により充実・発展しようとする意気込みが感じられる提案内容であり、経営の方向性もかなり明確になっている。また、各種の成果目標も実現可能な適切な設定であり、ISO9001に基づく自己評価体制のなかで着実な管理運営が期待できる。
- (2) 簡易な修繕、トラブルには可能な限り職員が迅速に対応し早期解決に努めるとともに、不具合箇所の早期発見と対策、利用者ニーズに対応した施設改修の提案は、施設に対する愛着心と利用者第一の施設維持管理方針が明確に示されたものであり評価できる。また、危機管理への対応については、様々なリスクを想定した研修や訓練が予定されており、緊急時にも迅速な対応が期待できる。
- (3) 文化会館では、多様化、複雑化する利用者ニーズに的確に対応するため、多様なジャンルや質の高い芸術文化に触れる機会を提供するとともに、次世代の文化を担う人材育成事業の拡大や演劇事業での先進的なスキームを新たに提案するなど、文化の情報発信拠点として施設が担うべき役割を十分認識した内容となっており、今後の文化の振興がより一層期待できる。
- (4) 生涯学習センターにおいては、多様な主体と連携しながら県民の生涯を通じた学習を支援できる事業内容となっている。また、学校等での体験授業が重要視されている中、新たな取組として、子どもたちが芸術や歴史などホンモノの文化にふれ親しむことができるプログラムが提案されている。感性豊かな子ども時代に感動・感銘を与えることは大変重要であり、三重の文化の担い手が多く育成されることが期待できる。
- (5) 男女共同参画センターでは、意識啓発を中心とする取組だけでなく、個人の課題や地域の実情に応じた課題解決型の実践的活動を中心とする第2ステージへの移行を視野に入れた提案となっていることから、これまで以上に男女共同参画推進の拠点として信頼度が高まるとともに、各種事業の展開による男女共同参画の理解と意識の高揚が期待できる。
- (6) インターネット上での貸館予約や空き状況の確認、納入方法の多様化、看

板作成サービスに加え、新たに会場設営サービスなどが提案されたことで、更に利用者の利便性の向上が期待できる。また、バスを活用した広域来館者サービスや乳幼児連れでも利用しやすい環境をつくる「子育て支援ルーム」の設置など、県民ニーズに応える施設運営、来館者サービスに対して積極的に取り組む姿勢は高く評価できる。

- (7) 職員全員が高い使命感を持ちながら、これまでの経験・ノウハウを活かした効率的な施設運営、効果的な事業の実施に取り組んだ結果、健全な経営状況のもとで安定的な施設運営が行われており、今後も安心して任せることができる。しかし、これまでのような経費削減が難しくなるなか、今後5年間の人件費が上昇する収支計画となっていることから、より魅力ある事業を企画するなどこれまで以上の集客、自主事業収入を獲得する努力が必要である。
- (8) 提案された事業計画を実施できるだけの職員配置・人材育成計画が提案されており、CS（顧客満足度）の高い施設運営が期待できる。ただし、職員給与面では非常に厳しい状況にあり、今後優秀な人材の流出も懸念されることから、登用制度の充実とともに更なる効率的な組織運営に努め、ES（従業員満足度）の高い職場となるよう努力してほしい。

以上